



FERRIS
UNIVERSITY

2018 No.16

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

マタイによる福音書 5章3節

「強いられた恩寵」

理事長 奥田 義孝



クリスマスチャンの教職員が交代で講壇に立っている。

恐らく教会特有の言い方だと思うが、何か役割を担う時に「強いられた恩寵」という言い方をする。「積極的に引き受けるわけではないが、神から与えられた恩寵として受け止める」といったニュアンスだろうか。何がしかの本音とユーモアを交えた言葉である。教会には会員の奉仕で支えられるさまざまな役割や仕事があり、それぞれが出来る範囲で引き受けているが、「ちょっとシンドイが、でも神様のご命令では仕方ないね！」と自分に言い聞かせているのかも知れない。フェリス女学院にかかわるようになって、同じような経験をするようになった。卒業生ならご存知のことだが、フェリス女学院大学では毎日昼のひととき、チャペルサーヴィスが行われる。緑園では毎日、山手は木曜日に20分程度の小礼拝がある。礼拝出席者数はかなり変動するが、これは出席がカウントされるかどうかにかかわらずされるらしい。卒業生の皆さまには身に覚えのあることに違いない。礼拝では10分程度の説教があり、チャプレンの先生方をはじめ、

理事長をお引き受けて暫くしたころ、宗教センターから「チャペルサーヴィスの説教を引き受けてもらえないか？」と打診を受けた。クリスマスチャン歴こそ長い、キチンと聖書の勉強をしたこともなく、「私なんかが礼拝の講壇に立っていいのかわかるか？」と思っただけ、これもミッションスクールの理事長の役割かもしれないと覚悟を決め、前期・後期・緑園・山手で各2回、計年8回を原則に講壇を担当してきた。

チャペルサーヴィスは、年間を通して各週に「週間主題」が決められ、それに相応しい聖句を選び、語るのだが、因みに、今年6月各週の「週間主題」は、「環境」「ボランティア」「幸せ」「友だち」であった。第1週を担当した私は、「箱舟は間に合うのか？」と題して、イースター島社会が森林乱伐により崩壊した事例を紹介し、環境破壊ひいては社会の崩壊をもたらす要因はさまざまだが、それが個人、企業、国家のエゴイズムに起因しているとすれば、それはやはり神の前に人間が堕落しているのではないかと語ったのだが、フェリス女学院大学に入学してきた学生の多くは、恐らく初めてキリスト教に接するのだと思う、いつものことだが講壇に立つ責任の重さを感じさせられる。一方歳月を経て、この責任は私にとっても強いられた恩寵だと思うようになったのは不思議なことである。

良い羊飼

学院長 鈴木 佳秀



マタイによる福音書一八章一〇節〜一四節にある有名なたとえ話は、カイパー記念講堂のステンドグラスに描かれているイエスの姿と重なるものである。

高校生の頃、初めてここを読んだ時は、納得がゆかなかったことを思い出す。失われた一匹の羊を、羊飼いが探しに向かうのは分かるにしても、野に残された九十九匹の羊はどうなるのか、狼の群れにでも襲われれば多大な被害をもたらすではないか、そう考えたからだ。

しかし旧約聖書から新約聖書まで、幾度も読み通しているうちに、あることに気がつかされた。それは、羊の群れを飼うのは、たった一人の羊飼であることは稀で、通常はグループで、つまり羊飼いが使っている使用人と共同で飼っているという事実であった。つまり九十九匹を無責任に放置して、失われた一匹を探しに向かったというのではない。使用人たちに任せて、失われた羊を探しに向かったということが分かるようになった。

父祖アブラハムは沢山の羊や山羊の群れを連れて約束の地に来たが、使用人たちを伴ってやって来たという(創一二・五)。彼らがいなければアブラハム一人で、沢山の羊の群れを飼うことは不可能である。ヨセフ物語に出てくる場面でも、ヨセフは兄たちと一緒に羊の群を飼っている(創三七・二)。モーセはエジプトの役人を殺害したため、亡命シナイの地に逃れるが、そこで、娘たち七人が羊の群れに水を飲ませようとする場面に行き当たって、彼女らを助けている(出二・一六〜一七)。ダビデも父の羊の群れを飼っていたが、父の命令で、戦場にいる兄たちに食料を届け、無事を確認するように命じられた時、羊の群れを「番人たち」に委ねて戦場に赴き、かのゴリアテを打ち倒す手柄を上げたのである(サム上七・一二〜五四)。

新約聖書のヨハネによる福音書にも良い羊飼いのことが触れられている(ヨハ一〇・七〜一八)。「良い羊飼いは羊のために命を捨てる。羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる」と記されている。雇人たち等には、羊が失われる場合、賠償が課せられたことが分かつている(出二二・三七、二三・九〜一二、アモ三・一二、エゼ三四・一〜一〇等参照)。「このように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」と結ばれているのは、極めて印象的である(マタイ一八・二四)。

感謝とお願い

学長 秋岡 陽



の二次の記念事業につきまして、引き続きご支援・お力添えをいただけますようお願い申し上げます。

「ラーニング・コモンズ」とは、学生たちの主体的な学びを促進する新しいスタイルの学習環境です。施設設備（ハード面）に関しては、学生たちが授業時間以外にもすすんで集まり学習できる環境の整備が行われます。そしてそこを拠点に、学生たちが、必要な時・学びたいときに、適切な指導・支援が受けられるよう、学習支援体制を整備します。この「ラーニング・コモンズ」は、フェリス女学院大学での自立した学びと生活の象徴的なスペースとなることでしょう。

創立一五〇周年に向けた大学記念事業（一次）への、ご支援・ご協力、ありがとうございました。昨年度末をもって一次記念事業「CLA棟の整備」の募金期間が終了いたしました。同窓会の皆様には、維持協力会の「一五〇周年記念募金」を通じて、力強いお支えをいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、緑園キャンパスに、ウェルカムセンターや国際センターなどを含む「CLA棟」が立派に整備されました。二〇一七年四月から「全学教養教育機構（CLA）」を中心に、新しいリベラル・アーツ教育が本格的にスタートしています。感謝をもってご報告いたします。

なお、（一次）に引き続き、今年の四月から大学記念事業（二次）の募金が始まっています。これは緑園キャンパスのもうひとつの新教育の拠点となる「ラーニング・コモンズ」を整備するものです。一五〇年の歴史を未来につなぐ、フェリスならではの教育環境整備です。こ

てまいります。今後とも、ご支援、お力添えいただけますようお願い申し上げます。



維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会では、二〇二〇年の学院創立一五〇周年に向けて、記念募金のご寄付をお願いしております。昨年度は記念募金目標額を七〇〇〇万円といたしました。おかげさまで約六四〇〇万円のご寄付をいただきました。二〇一八年度は、一五〇周年記念募金として、学院は「一五〇周年記念館（仮称）の設置等」、大学（二次）は「ラーニング・コモンズ整備事業」、中高は「外構及び環境整備事業」のため、前年度同様募金目標額を七〇〇〇万円といたしました。引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。詳細は募金趣意書をご参照ください。また、一五〇周年記念募金のほか、通常の募金（既存施設設備のための積立）もお願いしておりますので、あわせてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

能です（引落手数料は学院負担）。

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会后、会員の皆さまには、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「ご寄付明細」及びフェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上で』をお送りします。こちらは、寄付金使用状況の報告及び寄付者芳名録（掲載をご了承いただいた方のみ）を掲載しております。

寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員として登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、年二回フェリス女学院広報『ALL FERISS』をお届けします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、領収書発送時に同封します）。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 〇四五六六・二四五一
E-mail hsounu@ferris.ac.jp

●ご寄付の方法

原則一口二万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております（※詳細は学院HPをご参照ください）。継続的なご支援をご検討の方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可

りべるて・Fグループ・りてら合同総会

2018年6月9日・カイパー記念講堂にて



第15回合同総会は、盛夏を思わせる暑さの中、山手カイパー記念講堂に多くの会員のご出席を得て開催されました。開会に先立ち、本部総務課大久保様より、学院150周年記念募金のご説明と同窓生へのお礼の言葉、引き続き協力要請がありました。

礼拝は、英文科卒業生で、米国改革派教会宣教師ブラウネルのぞみさん、奏楽は林めぐみさんにお願ひ致しました。聖書申命記6章4～5節、マタイによる福音書5章1～12節を朗読され、「私たちの喜び」と題してお話されました。神の国とは何か、誰も行ったことがなく、また帰って来た人もいません。自分ではどうすることもできない人、弱さや限界を知っている人、悪に心を痛める人、逃げ場のない人、競争できない人等がイエス様の処に寄って行き、イエス様と向き合う時、大きな愛に包まれることを感じるのです。愛の声から引き離すことはできません。そして、心の中に神とともに居る幸せを感じると、とても分かり易くお話ししていただきました。

総会に移り、大学同窓会を代表し、小林周子Fグループ会長の挨拶の後、奥田義孝理事長より、少子化の中、今年度の志願者が大幅に増え、入学者



も増えたとのうれしいお話と、音楽学部の新しい取り組みについてのご説明がありました。また、鈴木佳秀学院長より、創立150周年カウントダウン企画について、今年は、11月10日(土)カイパー記念講堂で、「横浜」をテーマに開催されるので、皆さまもご参加くださいとお誘いを頂きました。

秋岡陽学長は、建学の精神である「キリスト教・女子教育・For others」を守り、大学の変革を進めていきたい、また、今年の卒業生の大学に対する満足度調査が95%に達したとのうれしいご報告もありました。その後、前記お三方のほか、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、木曾順子国際交流学部長、立神粧子音楽学部長、蔵田雅之演奏学科学教授、金香男国際交流学科学主任、佐々木在文学事務部長、川本淑子大学事務部次長、小川厚史山手事務室長、衛藤恰子白菊会会長をご紹介いたしました。その後、Fグループの畑中紫甫さんに中田喜直先生の作品を3曲歌っていただき、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に向かいました。来年は、6月8日(土)、山手で開催する予定です。皆様、お誘いあわせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



第29回 リバるて総会

真夏の様な日差しの下、6月9日(土)、家教科記念館に於て、鈴木佳秀学院長、秋岡陽学長ご臨席のもと、りべるて総会が開催されました。鈴木学院長より、創立150周年に向けてのオールフェリスへのお誘いをいただき、秋岡学長より、今ここに繋がっている学院の長い歴史を同窓生が支えていることへの感謝のお言葉を頂戴いたしました。次に、「りべるて奨学金」の目録が秋岡学長へ贈呈されました。有効に使われその後返済されている等の報告がありました。

金子会長から、りべるて30周年記念パーティの開催について、たくさんのお席申込みがあることや、会費は学院へ寄付させていただくこと等会の準備進行状況の報告があり、これまでと同様に2018年度も活発に活動してゆく為に皆様のご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

出席者、委任状合計により総会成立が報告され、議事に移りました。2017年度の事業報告、運営報告、決算報告、会計監査報告、2018年度の事業計画案、予算案が審議、承認されました。

懇親会では、学生時代の思い出話が語られ、新役員の紹介やグッズ販売もあり、和やかに時を過ごしました。今年も無事に総会が終了いたしましたことを感謝と併にご報告申し上げます。



(D 57) 田原亨子

Fグループ総会

6月9日(土) 8号館アートサロンにてFグループ総会が開催されました。

小林周子会長の挨拶に始まり、立神粧子音楽学部長から音楽学部改革に関して詳しくご説明いただき、堀田紀子教授、蔵田雅之教授からも温かく心強いお話を頂戴しました。音楽芸術学科の一学科となること、これからの世の中を見据えた発展的な改革であるという数々の魅力的なお話を伺いながら、少なからず持つていた不安感はワクワク感に変わりました。フェリスの創設時からの理念が損なわれることなく引き継がれていくことができ、未来への明るい展望に、同窓生としてこれからも変わらず応援していきたいと感じられるひとときとなりました。

議事では17年度会計報告、会計監査報告、18年度予算案、17年度活動報告と18年度活動予定が承認されました。その後、新卒業生によるヴァイオリン、ピアノのフレッシュな演奏が披露され、各支部からのご報告も頂戴し大変盛り沢山な内容となりました。

本年度もコンサート等皆様のご参加ご支援よろしくお願ひ申し上げます。



(報告) 小林和子・34回

りてら同窓生のついで

6月9日(土)、カフェテラス・フェリスにて「りてら同窓生のついで」が開催されました。梅雨入りし雨が心配されていましたが、お天気にも恵まれ、今年も多くの同窓生にご参加いただきました。

総会後、カバ「記念講演よりカフェテラスへ」移動いただきましたが、歩きながらも皆様とても楽しみにしていただいている様子が伝わってきました。

来賓の先生方にお言葉を頂戴し、和やかな雰囲気の中、ついでがスタート。その後、小澤会長より鈴木学院長へ150周年記念事業である、山手6号館改修のための寄付金が贈呈されました。

山手6号館は資料館の設置や、各同窓会室の設置、セミナールームの整備などを予定しており、卒業生の生涯教育の場として利用できることを目的のひとつとして改修されます。卒業生はもちろんのこと、多くの人が横浜のフェリスを理解して下さるきっかけとなるような施設になるように、との願いも込めての今回のご寄付となりました。来賓の先生方がご退出された後は、同窓生に現況をご報告いただいたり、在学当時の思い出を語っていただいたりして、世代を超えた同窓生としてのつながりを感じる事ができました。

山手に通うことになった緑園キャンパス育ちの卒業生もご参加くださり、こうして山手に集うことができたことは感慨深いことだと思います。

いつまでも卒業生が集い、そんな同窓会に今後もしていきたいと、決意を新たに「一日となりました。」



(報告) 高坂香子・2001

2017年度学位授与式

- 同窓会では、今年、
- 文学部 288名
 - 国際交流学部 227名
 - 音楽学部 77名



同窓会のグッズ販売

3月23日の学位授与式と、4月2日の入学式において、同窓会を身近に感じていただきたいの思いから始まった同窓会グッズ販売も、今回で3回目を迎えました。大学当局のご配慮によりコーナーを設けていただき、今回は学友会の学生2名もお手伝いに来て下さいました。

りてらは校章入りペン、サブバッグ、ファイル、アクセサリー、文具セット等を、Fグループは、CD、書籍、音楽会のご案内を、りべるては、校章焼き印入り三笠山、ファイル、エプロン、エコバックを販売しました。大学から、学生・保護者の皆様にご案内して下さいましたので、多くの方々にご来場いただきました。

卒業生には、校章入りグッズを見てはフェリスを思い出していただき、また、新入生には校章入りグッズで勉学に励んでいただきたいと願っております。



りべるて

Vol.30
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるて会員の皆さま、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年も会報をお届けできますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと厚く感謝申し上げます。

家政科は、1989年に幕を閉じてより今年で30年となりました。そこで10月18日(木)、横浜ロイヤルパークホテルで「30周年記念会」を行うこととしました。現在、参加の申し込みを受け付けておりますが、北は北海道より南は鹿児島まで、全国各地より多数のお申し込みをいただいております。

家政科の同窓生は、短期大学の二年

間、勉強はもちろんですが、キリスト教の教えを学び、素晴らしい先生方の人間性に触れ、生涯の友を得られた方も多数いらっしゃいます。

今回、記念会のお知らせをお送りしてからの反響の大きさに、フェリスで過ごした青春のひとときがいかに素晴らしかったかを感じております。お手紙には、「在学中の思い出は、キラキラした宝石のようで、年を経てさらに輝きを増しています」と書いてくださった方がいらつしやいます。同じように感じていらつしやる方も多いのではないのでしょうか。

今回の記念会を開催するに当たり、学院からは多大なご理解、ご協力を頂きました。「ご出席の皆様からいただいた会費を学院150周年募金に寄付する」旨書き添えましたところ、「出席はできませんが、寄付に・・・」とのお申し出も多数いただき、りべるての皆様がフェリスへの温かい思いを改めて強く感じた次第です。8月末日まで参加申し込みを受け付けておりますので、どうぞご参加ください。

2011年に創設しました「りべるて奨学金」は7年目に入り、大学からは

「卒業後、すでに返済をしていたでいる方もいる」との報告を受けております。多くの学生が「フェリスの学び」を続けられますようにとの願いを込め、本年も総会において秋岡学長に目録を贈呈いたしました。

この一年、各種教室を開催して参りました。年々参加人数が増え、残念ながら定員を設けざるを得ない教室もございます。行事予定をご覧になりお申込み下さいますようお願いいたします。

また、年間を通して住所変更等を受け付けております。転居や住居表示変更がございましたらりべるてまでご連絡ください。

りべるては、これからもフェリスと同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



行事予定

- 10月18日(木)
家政科同窓会りべるて30周年記念会
横浜ロイヤルパークホテル芙蓉
- 11月2日・3日(金・土祝)
りべるてバザー
- 12月6日(木)
大森先生お菓子教室
- 12月8日(土)
クリスマス礼拝
- 2019年
- 1月23日(水)
大村先生ステンドグラス教室
- 2月6日(水)
矢吹先生北欧絵織物教室

2018年度役員

会長	金子 和恵	副会長	小倉由紀子
書記	鈴木 初枝	書記	北村 周子
事務	遠藤木美子		石井 克子
	池田 昭子		村本とよ子
	岩江眞理子		三藤 裕子
	倉掛 典子		田原 吉子
	郷 佑美		浅見 治美
	嶋村美智子		三谷 京子
	大崎由記子		伊藤 純子
	D 52		D 52
	D 43		D 43
	D 45		D 45
	D 54		D 54
	D 51		D 51
	D 35		D 35
	D 43		D 43
	D 45		D 45
	D 43		D 43
	D 44		D 44
	D 51		D 51

特集 りべるて30周年を迎えて



ならパーティーを先生方職員の皆様の御協力を得て、盛大に出来ました事を、感謝と共になつかしく思い出します。

母校の生徒さんの活躍など耳にするにつけ、その姿を思い出し、私達の青春時代をなつかしむ今日此の頃、当時の友人達と元氣にお逢い出来る喜びを感じています。

山手の景色や元町の姿は、すっかり変ってしまいました。

母校も歴史を重ねて大きく発展している事でしょう。

会員の皆様もますますお元気で、ご活躍なさいますよう心からお祈り申し上げます。

三十年前に思う事 D34 中村 淑子
「時の流れ」という題で「云報りべるて」

五号に書きましたが、今回三十年近いう事で、改めてもう三十年近い月日がたったのだといういろいろな事を思い出しています。

小口会長、進藤会長から引きつぎ、役員の方達に助けられ、務められました。

私の任期中は、学院長、学長の交代、維持協力会の発足等、いろいろな事がありました。役員の方達も、他の同窓会との協力で懸命に同窓会の運営をしてきました。大変でしたが、今思うと楽しい経験

でした。

私の願いは、もっと若い世代の人達が参加し、役員も、若い人達で何か、やりたいた事を考えてもらいたい、と思つていました。あれから二十年、それはかなわぬ夢でした。

この世の中の変化、人の考え方、価値観の違い、ボタンひとつで何でも出来る便利さ、人のかかわりが、希薄になったのでしょうか。

世の中は、高齢化社会となりました。私達は、古き良き時代に「フェリス」で学んだという共通の経験でつながっています。最後の家政科の卒業生も、もう五十才を過ぎたと思いますが、世代は変わっても共通の「根」を持っているのです。私が会長だった時から、今も役員として同窓会を運営して下さる方々に心より感謝いたします。「伝統を守る」という事が、いかにむずかしい事かと思えます。

「りべるて」三十年前によせて

D41 皆澤 靖代

一九八九年三月に家政科が閉じられて、早いもので三十余年となるのです。在学生がいなくな、同窓会がここまで存続できましたことは、学院長をはじめ学院の皆様のご理解とご指導のお陰と感謝いたしております。また、役員の皆様のご尽力と、合わせて同窓会会員の皆様のご協力によるものと強く感じております。

私は、一九九八年四月から二〇〇五年三月まで会長を務めさせていただきました。

た。会長をお引き受けした二年目からは、同窓会運営費用を家政科基金に頼ることが難しくなったことから、三年間は運営資金とし会員の皆様に年間二〇〇〇円の協力をお願いいたしました。また、二〇〇三年より、りてら・Fグループとの同窓会が協力して合同総会が発足し、合同の会報も発行され、現在に至っておりますことを喜ばしく思っております。

いろいろな思い出深い七年間でございました。様々な講習会も開催されており、私もステンドグラス講習会に出席させていただいております。作品の完成の喜びとともに、役員の方々の楽しいおしゃべりの時間も持て、りべるてとのつながりを続けさせていただいていることをありがたく思っております。

金子会長をはじめ役員の皆様には、私たち同窓生のために、これからもよろしくお願い申し上げます。

2018年10月18日(木)家政科同窓会りべるて30周年記念会をロイヤルパークホテルに於て開催いたします。会費2000円は郵便局よりお振込みください。

口座記号番号

02604105216

加入者名 金子和恵

通信欄に住所・氏名・電話番号・卒業年を明記

〆切 8月31日

1989年3月に開催された「家政科さよならパーティー」の席上、同窓会は新たな名称をりべるてとすることを同窓生の投票で決めました。それまでのDクラブを率いて下さった小口会長からバトンを引き継いだ新役員は、へりべるての活動について話し合いを重ねました。リーダーシップを発揮して今の基礎を作ってくださいました歴代の会長から今回、30周年を迎え、思い出を寄せていただきました。

D39 小口 照子

りべるて、三十周年おめでとうございます。会員の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

短期大学から四年制大学へ大きな転換期に、フェリス女学院の発展を祈り、さよ

No. 1 1989.7

6号館
1989年3月11日(土)フェリス女学院短期大学家政科が40年の歴史に幕を下ろした記念パーティーの出席者アンケートにより、同窓会りべるてとなって、初めての会報が発行されました。



Vol. 4 1992.7

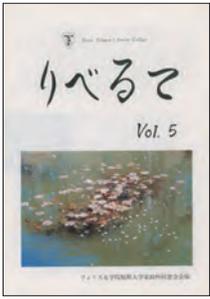
山手通りより校舎とつつじ



Vol. 5 1993.7

2号館前庭の水蓮

前任の会報担当石川さんから引き継ぎ、山手美術工房さんと原稿用紙に書いていただいた記事の字数を一字一字きっちり数えての手作り会報でした。



Vol. 9 1997.7

旧2号館階段とさるすべり
りべるて総会・恩師登場・活躍する同窓生や散策記等紙面も充実してきました。



Vol. 12 2000.9

家政科記念館

前年から野毛印刷さんに変更し、記事も原稿用紙でなくワープロでも字数を多少オーバーしても所定の場所に収まる様になりました。



Vol. 14 2002.9

新カイバー記念講堂

りべるて独自で発行してきました。会報も、次からは大学3同窓会でひとつの会報を発行する事になりました。



Vol. 15 2003.8 合同No.1

緑園キャンパスチャペル
大学3同窓会での会報「フェリス女学院大学同窓会会報」1号が発行されました。
ページ数も20ページとなり、共通ページ・各同窓会ページとなり、同窓会同志の連帯感も生まれました。



Vol. 17 2005.8 合同No.3

フェリスホールパイプオルガン



Vol. 20 2008.8 合同No.6

緑園キャンパスステンドグラス

会報りべるても20号を迎えました。りべるて20周年記念会が3月29日(土)山手6号館で懇親会は学院本部3階大会議室にて開催され200名の出席がありました。



Vol. 23 2011.8 合同No.9

カイバー記念講堂パイプオルガン
東日本大震災が3月11日に起こり、第9回合同総会は中止になりました。りべるてでは大学生の為の奨学金を創設しました。



Vol. 26 2014.8 合同No.12

カイバー記念講堂と花

フェリス周辺の見学会や講習会等定着してきました。特に各講習会は好評でして申し込みもたいへん多量員オーバーでお断りする事もありました。



Vol. 30 2018.8 合同No.16

カイバー記念講堂と花

号から携りアツと言間に30号になりました。



北欧絵織物教室

1月31日、矢吹恵子先生の北欧絵織物教室に、初めて参加させていただきました。

9日前に首都圏では大雪となり、積雪が4年ぶりに20センチ越えたとのことでしたが、当日は穏やかな天気でのりでした。調べてみると、みなとみらい線の元町・中華街駅からエスカレーターに乗れば、あの、急な坂を回避できるようなので、恐る恐る行ってみると、正に坂を上らずに外人墓地を通り、家政科6号館とその先の家政科記念館を見つけた時には、もう、懐かしい気持ちが入り込んできました。



お教室では矢吹先生のご指導の元、皆様の足を引っ張らないように必死

でしたが、絵織物とはこういうふうに織っていくのね」と解り、作品が出来上がっていくと、とても嬉しくなりました。麻糸や変り糸を組合わせて、とてもセンスある配色や先生の素敵なデザインのおかげで、私の「花に囲まれた家」が完成しました。

矢吹先生が醸し出す、とても素敵な空間の中、同窓生の方々と楽しい時間を共有できて本当に感謝いたします。又、矢吹先生と役員の方々にご心よりお礼申し上げます。(D52 大崎由記子)



ステンドグラス教室

私は昨年、友人に誘われて初めてステンドグラス教室へ参加いたしました。今年も2月7日、楽しみに参加させていただきました。役員の皆さま、毎年お世話さまでございます。今年はどんな作品が作れるか、ワクワクしています。今回も先生が干支の犬をデザインした可愛い狛犬でした。このお教室は、先生が素敵なお色とりどりのガラスをカットして下さり、お嬢様とお二人で丁寧な指導をして下さるので、初めての方でも、家族やお友達に自慢したくなる作品を制作できることが、とてもうれしいです。



私は、2月にスペインへ旅行し、サグラダファミリア、アルハンブラ宮殿など素晴らしいステンドグラスに感動して帰ってまいりました。我が家のリビングで、狛犬のステンドグラスが朝日、夕日に輝くひとは、なんとも心和む時間です。



来年は、孫の干支である猪、今から楽しみにです。年を重ね、良いものだけを残していきたいと思うようになり、このお教室に出会えて感謝しております。そして、母校に、友人と共にあの坂道を登ってくる、学生時代が懐かしく思い出されます。

(D51) 浅野眞理子

ビーズ教室

7月5日、蒸し暑く時折雨の降るあいにくのお天気でしたが、14名の参加を得て、小倉志保子先生のビーズ教室を開催いたしました。



今回は、天然石でパワーストーンとしても知られるターコイズのざざれ石を120個も使ったラリエットです。

はじめに先生の作品を拝見して、おしゃれなデザインに期待が膨らみました。作り方の説明を受けて、ターコイズと黒のシードビーズを交互に糸に通し、先端にブルーのアクリルビーズを付けます。極小のシードビーズは穴が小さいので糸を通すのに苦労しながら、また、分らないところを先生に教えていただきながら、皆さま2時間ほどで完成させていきました。鏡の前で付け方を工夫し、とても嬉しそうにお互いに感想を話し合っていました。初めて参加された同窓生もすぐに打ち解け、年代を超えて楽しくおしゃべりをしながら作品を作りました。その後、昼食をいただきながら、学生時代の思い出話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。来年は、7月に先生にお願いいたしました。また素敵なデザインを考えてくださるそうですので、どうぞご参加ください。



■2018年度予算

科目	金額
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費	940,000
(郵便料金)	930,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
30周年記念会費	1,100,000
合計	3,762,000

会長 金子和恵 (印)
 会計 石井克子 (印)
 池田昭子 (印)
 監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2018年5月17日

監査 郷 佑美 (印)
 浅見 裕美 (印)

■2017年度決算報告書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	金額
収入	
受取利息	95
業務費(グッズ販売、バザー)	357,223
金の他計	0
寄付の小	0
前年度繰越金	357,318
合計	9,951,214
支出	
奨学金基金	500,000
寄付金	1,073,917
交際費	30,000
事業費(グッズ)	39,112
小計	1,643,029
次年度繰越金	1,643,029
合計	8,308,185
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,662,006
定額貯金(同上)	3,027,000
通常貯金(同上)	768,425
通常貯金(同上)	1,468,342
普通預金(横浜銀行)	382,412
合計	8,308,185

■2017年度運営費報告書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	金額
収入	
奨基金運営費(学院より)	2,342,891
合計	2,342,891
支出	
消耗品費	6,192
旅費・交通費	319,580
通信・運搬費	867,679
印刷・製本費	821,349
報酬・手数料	2,238
会議・会合費	93,010
渉外費	105,765
諸会費	39,065
雑費	88,013
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,342,891
収入-支出	0

バザーのお知らせ

11月2日(金) 3日(土・祝) 家政科記念館においてバザーを開催いたします。バザー当日に販売します未使用の日用雑貨品等ございましたら献品くださいますようお願いいたします。

受付期間：11月1日まで 受付場所：家政科記念館

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、リベるて宛お知らせください。

TEL・FAX 04516620750 (第一木曜日は閉館)

Fグループの皆さま

会長 小林 周子 (29回)



会員の皆さま、日頃よりFグループの活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。どうぞございます。

昨年11月に創立150周年記念募金コンサートを開催いたしました。ご指導の先生も含め、ほぼ全員会員による演奏会



2019年度からの新・音楽学部について 音楽学部長 立神 粧子

術学科を母体に演奏学科分の30名を加えた定員75名の「音楽学部 音楽芸術学科」1学科となります。

同窓会の皆様、いつも音楽学部への叱咤激励をありがとうございます。重大なご報告を申し上げます。音楽学部は2019年4月より現行の2学科体制から1学部1学科体制に学部改編を行うことが決まりました。来年度からは、現音楽芸

新しい学科の特徴は三つあります。第一は、学生の主体的な学びを中心としたカリキュラムです。現代社会の多様なニーズに応える10ゼミナールを用意し、全員がゼミに入って「社会とつながる」ことをテーマに、各自の専門を通して社会力、人間力を身につける。第二は、グローバルな力を身につけるためにフェリスの持つ伝統と資源を最大限に利用するリベラルアーツ型の学び。これからの時代、

は多くの方々のご来場をたまわりました。そしてご来場がかなわなかった卒業生よりのご芳志を加えた収入は100万円を超え、全てを学院に寄付いたしました。音楽の専門教育が始まって70年余り、品格のある美しい音がフェリスホールに響き渡りました。心より感謝申し上げます。卒業生とその生徒さんのための山手の丘合同発表会も3年目を迎え、今年は100名を上回る出演者となり、直接お役にたてる企画として成長しております。さらに多くの皆さまにご利用いただければ幸いです。

さて、音楽学部は来年度より新たな歴史のページを開いていくようです。昨今の音楽教育を取り巻く厳しい環境の中で現状を踏まえたうえで改革で、すでに提示されている様々なカリキュラムは時代にあった魅力的なもので、演奏を主眼として勉強をしていきたい方々にも従来通りのレッスン時間を確保でき、さらに幅広く音楽を捉えていくことができるものとなっております。

私達は音楽学部との懸け橋としてこれからも変わることなく応援してまいりますと思っております。今春、新たに86名の会員の皆さまをお迎えし、さらに充実した活動をしていきたいと思っております。

いかなる職業にも語学力と異文化理解は不可欠です。第三は、充実したパフォーミングアーツ(PA実技)科目群の開講です。各種個人レッスンや実技系のクラス演習授業は別途有料科目になりますが、各自の実力とニーズに合わせて自由に選べます。個人レッスンも15分、30分、45分と3種類あり、45分のレッスンを履修すれば専攻実技と同等の勉強ができ大学院への進学もこれまで同様可能でしょう。

入試に関しては実技試験や音楽基礎科目はなくなりませんが、秋の公募型推薦入試のときのみ、小論文+面接+「プレゼンテーション」という形で実技系を披露してもらえる場があります。「プレゼン

様々な情報はホームページでお届けしております。是非ご利用ください。最後になりましたが、変わらぬご支援をお願いするとともに皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

～Fグループ ご寄付のお願い～

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口2,000円からお受けいたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行
00280-3-75184
〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

「プレゼンテーション」は演奏でも、自分が高校卒業までに達成したことや制作した作品などに関する口頭発表でも可能です。センター入試以外の1月以降の入試は、「国語」と「英語」の高校までの基礎学力での入試となります。

今回の改革では学部の形を大きく変革しますが、「音楽」を現代社会の中で捉えなおし、本大学の資源を最大限に生かすと同時に音楽の力を最適化して發揮させるための前向きな改革であります。どうか引き続き同窓会の皆様からのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

ジョイントコンサート

17年9月16日(土) フェリスホール

三連休の初日、朝から生憎の雨模様でしたが、145名ものお客様にお運びいただき盛会のうちに終了しました。
7組の同窓生が出演し、真摯に勉強を重ねていくことがよくわかるフェリスの良さが存分に出た演奏が繰り広げられました。



当日は、Fグループのホームページやフェイスブック・ツイッター等のSNSと連携し、随時写真がアップされ、ご来場いただけなかった方にもリアルタイムで情報を手にしていただくことができました。

今年9月15日(土)に開催予定です。懐かしの母校へお出かけください。

担当 小清水桃子(55回)

「17年度出演者」

森本真菜(55回Pf)
亀岡聖子(49回Vo) 高橋牧子(賛助Pf)
犬飼美奈(48回Vn) 六戸恵美子(賛助Pf)
岡部ゆかり(30回Vo) 久保井明子(31回Pf)
笹本有子(44回Pf) 岩男潤子(47回Pf)
阿久津世千子(36回Pf) 小瀨美穂(42回Vo)
佐々木淑子(36回Fl) 榊原緑(28回Pf)
『ジョイントコンサート出演者募集』
Fグループ会員でしたら出演できます。書類審査がございますので、Fグループ事務局にお問い合わせください。

150周年記念募金コンサート

17年11月4日(土) フェリスホール

爽やかな秋晴れの中、280名ものお客様に足をお運びいただきました。オルガンの小清水桃子さん(55回)、ピアノの中野真帆子さん(34回)、名倉淑子先生・井上雅代先生のご指導によるFグループアンサンブルの皆様が、バツハ、シヨパン、シューベルトの大作が並ぶプログラムを演奏してくださいました。



フェリス女学院の音楽専門教育70年間、脈々と受け継がれ培われてきたフェリスの美しい響きを堪能いたしました。演奏者の方々、ご来場のお客様、又ご寄付を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

担当 尾見恵美(45回)

第4回 山手の丘合同発表会

18年3月21日(水・祝) フェリスホール

第4回山手の丘合同発表会は109組の参加者を迎え開催いたしました。当日は雪の中、多くの来場者に恵まれました。ピアノや声楽の他に、ヴァイオリンやチェロも加わり多彩なプログラムになりました。



また第6部には28回生が揃って5組出演し「同期生コンサート」のような雰囲気でも盛り上げました。2019年から発表会は年2回開催いたします。卒業生のお弟子さんの発表会として、また卒業生自身が演奏する場としても広くご活用いただければ嬉しく存じます。

担当 金子明子(43回)

学年幹事会

18年5月10日(木) 6号館カフェテラス

学年幹事会では、各担当から諸活動について報告などがなされ、来年度の会長選挙に向けて選挙管理委員会が発足されました。また、来年度からの音楽学部新カリキュラムについて立神粧子音楽学部長よりお話がありました。

ご参加いただきました幹事の皆さま、ありがとうございました。

担当 廣田晴美(53回)

「選挙管理委員会のお知らせ」
2018年度に任期満了となるFグループ会長の選挙を会則に基づき執り行います。任期は2019年度から3年間で

自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会までご連絡ください。

*立候補期限 2019年3月1日

*連絡先 Fグループ事務局

委員長 太田康子(22回)

音楽の贈り物

～フェリスホールコンサート～

♪ジョイントコンサート

2018年9月15日(土) 15:00開演
全席 1,000円

【出演】

♪豊田有美(60回Vo) 高柳圭(賛助Vo)
漆間有紀(58回Pf)
♪柳沢真美(63回Pf) ♪平沼由季(50回Pf)
♪太田三美(35回Vo) 堀内陽子(31回Pf)
桃原健一(賛助Ob)
♪樋口かおり(44回Pf) 安藤美保(44回Pf)
♪樺沢宏美(49回Pf) 松葉真理子(48回Pf)



♪フェリスアーベント

2018年10月26日(金) 19:00開演
全席 2,500円

【出演】

田口純子(24回 Pf)
藤田直子(32回 Vo) 小倉一美(30回 Pf)

【プログラム】

シュテルツェル/あなたがそばにおられるなら
(アンナ・マグダレーナ・バッハのための音楽帳1725より)
A.ドヴォルザーク/ジプシーの歌 作品55
C.ドビュッシー/前奏曲集第1巻 他

♪第5回 山手の丘合同発表会

2019年3月21日(木・祝) 10:30開演予定

【参加者募集】

応募期間 2018年9月6日～12月12日

参加資格 Fグループ会員

Fグループ会員のレッスン生

*第6回は2019年8～9月開催予定

お問合せ・お申込み Fグループ事務局
045-681-6740(木曜日10時～17時)
E-mail: ferris@fgroup.jp

林佑子先生を偲んで

非常勤講師 宇内 千晴



林佑子先生に初めてお目にかかったのは1989年夏、岐阜県白川町で行われた「第5回イタリアオルガン

音楽アカデミー」に参加した時でした。世界的なオルガニストの前で演奏するとにドキドキしていた私でしたが、演奏後の最初の一言は、「いいじゃない。」そして「ここはこうすると良いと思うのだけれど、どう思う？」林先生のレッスンは、決して押し付けがない、自分で考えさせる、そこに書かれている音楽を最大限引き出してくれるものでした。

その後、「フェリスで教えない？」と声をかけてくださり、フェリスへと導いてくださったのです。フェリスでは、林研究室を立ち上げ、学生のみならず、若手のオルガニストたちにも研鑽の場を設けてくださいました。

そこで得た学びや人との繋がりは、今でも私の大切な宝となっています。林先生から教えていただいた人と音楽を大切にする心を、今後も目の前にいる学生たちに伝えていきたいと思っています。

水本雄三先生を偲んで

大橋 ゆかり(35回)



背が高く、学校ではいつもスリッパだった水本先生。新曲をくださる時は、まるで本棚の本を取り

出すようにその曲名を仰り、弾いてきた曲に対しては「この先も常に弾き続けて自分のレパートリーにしない」と。大人としてピアノに向かう姿勢を教えてくださいました。水本先生の生徒であることは、私の清々しい誇りでした。感謝と共に心よりご冥福をお祈りいたします。

北支部

支部だより

支部長 工藤 羊子(30回)

去年は、活動休眠状態となっておりますが、今年10月26日に札幌市内にある渡辺淳一文学館で、第3回となる「東日本大震災復興支援コンサート」を開催いたします。讚美歌・宗教曲、ゴスペルソングに中田喜直作品を加え、フェリス同窓会主催にふさわしいプログラムを予定しております。

多くの方のご賛同・支援、そしてご来場をお願い申し上げます。



中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年も年3回演奏会を開催しました。ふれっしゅコンサートは、黒川先生をお招きして同窓生とのジョイント、秋は、落合先生をお招きしてのジョイントコンサートでした。どちらのコンサートにも大学の先生にお越しいただき、贅沢な一年になりました。

今年名古屋市の会場が、秋のコンサートのみになります。落合先生にお越しいただき、新卒生とコーラスのジョイントの予定です。



ジュニアコンサートは今池のガスビルで12月に開催します。生徒さんの出演をご希望の方は中部支部へご連絡ください。

関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)

2017年は、7月1日に京都らしい風情が漂う祇園の老舗「天ぷら圓堂」にて、関西支部総会を9名のご参加で開催いたしました。年代を超えて学生時代を懐かしみ、未来の母校への夢に思いを馳せて、お話の尽きない会となりました。

今年6月28日に兵庫県芦屋での開催となります。フェリスの新しい方向性をシェアし、発展に向けて同窓会としてのご協力の形を模索できればと考えております。また、関西地区での同窓生の音楽活動を応援していけるような形づくりを検討中です。

九州・山口支部

支部長 村上 京子(24回)

九州山口支部では、毎年夏にジョイントコンサートを開催しています。昨年は大学からヴァイオリンの戸田先生とピアノの堀先生をお招きし、卒業生の山本紗栄子さん(Pf)、野田和佳子さん(Vo)と、新卒の田中美帆さん(Pf)、黒川青葉さん(Vo)を交えて7月2日に開催し、ご来場の皆さんに楽しんでいただきました。

今年の開催は、7月8日の予定です。又11月2日には音楽学部担当の西南支部同窓会があり、学院長の鈴木佳秀先生とFグループの小林周子会長の御臨席を頂き、分科会ではFグループの活動並びに支部長の交代を報告いたしました。

コンクール受賞報告

*朝緑和恵(35回)

第25回太陽カンツォーネ・コンクール
本選会 ポピュラー部門入賞

*中川彩(61回) & 遠藤夏季

第5回寝屋川市アルカスピアノコンクール
デュオ1台4手連弾グランプリ部門
グランプリ・寝屋川市長賞

*齊藤舞(56回)

第16回中田喜直記念コンクール 三浦洋
一記念伴奏賞 NHK旭川放送局賞

*畑中紫甫(60回)

第17回中田喜直記念コンクール 大賞お
よび中田喜直賞

*鈴木彩音(63回)

第17回中田喜直記念コンクール 三浦洋
一記念伴奏賞 NHK旭川放送局賞

Fグループ2017年度決算報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(収入の部) (単位:円)

科目	決算額
終身会費	3,510,000
総会費	50,000
ジョイント会費	240,500
研修会費	0
ティータイム会費	0
合同発表会費	667,300
共同名義会費	2,700
ハートフルコンサートグッズ販売	89,790
グッズ販売	140,030
寄附金	132,000
雑収入	93,448
募金コンサート	1,069,000
小計	5,994,768
前年度繰越金	3,136,287
収入の部合計	9,131,055

(支出の部) (単位:円)

科目	決算額
(1) 運営費	1,459,152
会議費	7,974
印刷費	53,189
通信費	145,614
通件費	704,280
交際費	66,572
事務・消耗品	41,391
備品費	0
出張費	0
交通費	312,000
学年幹事会費	46,294
特別委員会費	0
雑予備費	81,658
(2) 活動費	2,132,019
総会関係費	391,136
研修会関係費	0
ティータイム関係費	0
会報関係費	618,319
ジョイント関係費	75,927
リサイクル関係費	93,000
支部関係費	496,760
慶弔関係費	54,000
合同発表会関係費	196,307
募金コンサート費	206,570
(3) 諸会費	1,432,430
連絡維持費	70,000
維持協力会費	300,000
維持寄附金	1,062,430
(4) 積立金	0
名簿積立金	0
積立金	0
(5) 支立金	0
支出合計	5,023,601
次年度繰越金	4,107,454
支出の部合計	9,131,055

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。2018年4月19日
Fグループ 会計監査 熊本 美也子 楠瀬 由佳理

私は今の仕事が大好きで、365日24時間頭の中はパーのことでいっぱい。就職せず起業することに反対の声はありましたが、自分を信じ、今の道を選んで良かったと心から思います。23歳の当時は、

「起業者育成講義」を受講したことで起業が身近な存在だったこともあり、「この商品でジャパンブランドを作る!」と誓い会社を設立。日本初のお力添えのお陰で、今日まで順調に参りました。ありがとうございます。

2015年フェリス女学院大学 音楽学部 演奏学科卒業。卒業後、英国短期留学を経て、2016年Bandon株式会社設立「Kane Bar (カネバー)」というブランドで商品を展開し、オンラインストアの他、代官山、京都、フェリス女学院大学(丸善キャンパス)ショップで販売中。

少し勇気がいる選択ではありませんでしたが、自分が挑戦したい道があるのに、違う道を選ぶことこそ間違った選択であると気付きました。以降、どんな状況下でも、本当に自分のやりたいことを実行する勇気を持ち、「Seize the day(今を生きる)」を座右の銘にしています。

卒業生だより

勝田佳捺絵(64回)



プロフィール

2015年フェリス女学院大学 音楽学部 演奏学科卒業。卒業後、英国短期留学を経て、2016年Bandon株式会社設立「Kane Bar (カネバー)」というブランドで商品を展開し、オンラインストアの他、代官山、京都、フェリス女学院大学(丸善キャンパス)ショップで販売中。

新役員紹介

- 書記 小林和子(34回)
- 会計 伊藤裕子(27回)
- 会報 藤原律子(47回)
- 常任B 西山彰子(54回)

グッズのご紹介

創立150周年記念募金活動の一環として、岡崎光子さん(11回)デザインの手帳、チャリティーポストカードに新作が仲間入り。「音楽シリーズ」「クリスマスシリーズ」各セット6柄入り500円で販売しています。売り上げは全てフェリス女学院へ寄付いたします。

また大人気のA4クリアファイル(オルガン)は完売のため、再販を決定しました。好評の表面デザインはそのままに裏面を一新、ご期待ください。グッズはHP、事務局、Fグループ主催のコンサート会場等にてご購入いただけます。



英国で活躍のピアニスト寺師真理子さん(24回)のCD「セイシヤス、ラモー、クーブラン」の販売をお取次ぎいたします。HPよりお問い合わせください。

フェリス音楽教室

こどもたちとともに63年
60周年を控え新しい
ページが始まりました!
大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396
<緑園教室>
045-813-1070

http://www.ferrismusicinst.org

Fグループ事務局(木曜10時〜17時)

- *山手602教室ご利用者からのご寄付52,500円を音楽学部へ寄付いたしました。
- *先生・同窓生より、Fグループに12万円のご寄付を賜りました。心より感謝申し上げます。
- *山手602教室は同窓生がご利用できます。ピアノが1台有り、伴奏合わせ・アンサンブル・同期会などに活用いただけます。詳細は事務局までお問い合わせください。
- *演奏会の後援、宛名シールの印刷、校章使用については事務局へご連絡またはHPから申請してください。
- *住所・姓・電話番号の変更・慶弔(先生・同窓生)などをお知らせください。

〒231-8651 横浜市中区山手町68
Tel. 045-681-6740
E-mail ferris@fgroup.jp

Fグループホームページ
随時更新中!

https://fgroup.jp

Fグループ会報編集

八木笑子(39回) 藤原律子(47回)

りてら会員の皆さま 会長 小澤 美智子（1970J）



ましたことをご報告いたします。

又、一五〇周年記念カウントダウン企画も二年目となります。昨秋は「キリストのかおりフェリスのまなび」をテーマに中高・大学生の座談会や合唱など、「フェリスのかおり」漂う感動的な会が開催されました。今年も十一月二〇日に「横浜」をテーマに、音楽にあふれた企画が「HILLS」で計画されており、詳しくはホームページに掲載いたしますので、皆さまの来場をお待ちしております。りてらでは「りてらサポーター」を募集しております。サポーター会員の皆様には年に数回行事の際のお手伝いをお願いしております。登録されたメールアドレスに一斉送信で内容や日時をお知らせし、その日ご都合の合う会員にお手伝いをお願いしております。同窓会活動の一端を担っていただくことにより、尚一層同窓会を身近に感じていただけるのではと考えております。詳しくは事務局にお尋ねください。

五月に開催されました今年度第一回学年幹事会に於いて、新役員が承認されました。今期も大学・学院と同窓生を結び懸け橋となり、年代を越えて同窓生が楽しく集える場をご提供することを念頭に、役員一同一四八年の歴史ある母校のお役に立てる喜びをもって務めさせていただきます。

そして数年来皆さまにお伝えして参りました一五〇周年記念事業、学院共通事業としての山手六号館改修工事内容の計画が明らかになり、一五〇周年記念館飯称の二階に同窓会室をいただけることになりました。同窓生が集える場を持つことは、りてら設立以来の長年の夢でございます。ご計画に感謝申し上げます。先の幹事会に於きまして、この記念事業へのご寄付が承認されましたので、六月の総会（同窓生のつどい）にて二千万円の目録を鈴木学院長に贈呈させていただきました。

最後に、皆さまの住所管理は大学からの委託を受け、同窓会事務局で一括管理しております。大学・学院からの情報を始め、総会のお知らせ・会報・クリスマスカード等が皆さまのお手元に届きますように、転居や改姓の際にはホームページ或いはFAXにて事務局まで変更届をお出しください。よろしくお願い申し上げます。

キャンパスだより

大学祭実行委員会

2018年度委員長 音楽学部音楽芸術学科3年 鈴木夏海
Paris Festival 2018は、11月3日（土・祝）・4日（日）の2日間行われます。今年度のテーマは「WALK・輪・和」です。このテーマには、大学祭を通じて私たちフェリス生と来場者の皆様とが繋がりを持てるように、そして来場者の皆様全員が笑顔で幸せな気分になれるように、という願いが込められています。大学祭に関わるすべてのスタッフの思いが、ご来場の皆様へ伝わり、少しでも前向きな気持ちになっていただくことができれば嬉しく思います。今現在、私たち大学祭実行委員会を始め、部活やサークル、その他多くの団体が大学祭へ向けて活動しています。昨年度よりもパワーアップした大学祭をお届けできるように、フェリス生一同頑張つて準備してまいります。皆様には当日緑園キャンパスに足をお運びいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

バリアフリー推進室

私達バリアフリー推進室は、今年で10周年を迎えることができました。先日はバリアフリー推進室で今まで活動して下さった先輩方と現役生が交流する機会を持つことができ、引き続き他者のために寄り添えるような活動をしていきたいと思います。

私達は、主にキャンパスのバリアフリー化と障がい学生をサポートを中心に活動しています。キャンパスのバリアフリー化では、大学内のマップを作成し、車イスを利用している方でもスムーズに移動できるよう工夫しました。また、障がい学生のサポートでは、有意義な大学生活を送れるようサポート体制を整えています。

今後ともバリアフリー推進室の活動を通して、少しでも多くの方々にご貢献できるよう、学生スタッフ、コーディネーターと努力して参りたいと思います。

代表 後藤詩歩



「新しい仕事を始めて」

副学長 谷口 昭弘



フェリスに来て7年目となりました。それ以前は大学といっても地方の国立大学で短い間非常勤講師をしただけで、博士号を取って以来、大学とは離れた生活をしていました。2012年4月、大学に勤めるということになって横浜に引っ越し、最初は訳も分からず、とにかく毎回の授業の準備で深夜まで起きているような毎日でした。女子大というのも、最初はとても新鮮な体験でした。

ここ数年はさすがに慣れてきたという感覚もあったのですが、突然今年度から副学長を拝命することになり、まともはやあたふたする毎日が戻ってきたように思います。私の務めは「事業推進担当」となっており、企画広報を核として、大学そのものがどんなものなのか、どのような状況にあるのか、学生から見てどういった魅力を持っているのか、何が起きているのかなどを発信するということを行っています。と書きながら、現実には、まだ仕事の全体像がつかめないまま次から次にやってくる書類に対応し、打ち合わせに出席し、会議で報告をするというのをがむしやらに続け

ているというのが本当のところ。そんな中で、いろいろと迷惑をおかけすることもあり、この原稿も大幅に締切を過ぎての提出となってしまいました。

さて、これまでの私は研究教育活動以外に音楽芸術学科の主任を勤めていましたが、そのやり取りは同じ学部の先生方を中心に回ってきました。しかし副学長となった現在は、全学規模の話し合いに参加したり、事務の方と頻りに打ち合わせしたり、理事会に陪席したりという中で、大学というものはこういう風に戻っているのかということとを改めて、別の視点から実感することになりました。これもまた新鮮で面白く、やりがいを感じています。

一方、大学の魅力を発信する広報という仕事をしていて感ずることは、「ないものねだり」よりも「あるもの探し」が大切だということでしょうか。もちろん大学にも解決すべき問題というものはあるでしょう。しかし昨今あちこちの大学で起こっている様々な改革の波の中で、現在のフェリスが持つ力を、知ること大切だと感じています。それがフェリスのフェリスらしい側面でもありましよう。創立150周年を迎える2020年にむけて、発信できる「いま、ここにあるもの」をしっかりと見極めたいと考えています。

150周年記念事業



<りてら同窓生のついでにて>

山手6号館を全面改修し、150周年記念館(仮称)とする記念事業が学院共通で進められています。教室機能を維持し、常設の資料館を設置するほか、各同窓会室、または分室の新設と、卒業生も利用できるセミナールームの設置が予定されています。そのための支援と感謝の気持ちを込め、りてらより寄付金が贈呈されました。

在學生はもちろん、同窓生の集う場として、6号館は生まれ変わります。大学の事業として予定されている「女性のエンパワメント支援」に必要な施設も視野に入れ、多くの方に利用いただける施設を目指しています。



<現在の山手6号館>

りてら2017年度決算報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

●収入の部(円)

科目	決算
終身会費	1,020,000
追加通信費	1,235,000
預金利息	3,568
雑収入	13,000
収入小計	2,271,568
前年度繰越金	35,311,552
収入合計	37,583,120

●支出の部(円)

科目	決算
総会関連費	964,240
会報関連費	2,158,614
クリスマスカード費	1,146,617
企画画費	0
会議費	250,913
卒業・入学関連費	764,821
大学祭	8,020
寄附	1,000,000
就職課支援金	0
交際費	22,484
会費	70,000
人件費	1,163,977
交通費	154,040
通信費	141,708
パソコン関連費	241,195
ホームページ関連費	271,902
リース費	64,800
印刷費	48,873
事務消耗品費	77,350
手数料	2,752
備品	0
雑費	8,850
予備費	0
支出合計	8,553,136
次年度繰越金	29,029,984
合計	37,583,120

同窓生だより

オープンカレッジの生徒となって 佐藤 国子

27年6月。70才、卒業50年の年。りてら総会の葉書きが届き、記念すべき年と思ひ、初めて出席いたしました。その時オープンカレッジ特別講義のお知らせを聞き、オペラ講座に足を運びました。60才から本格的にクラシックバレエのレッスンを受けて、舞台経験も数回あるけれど、いつかは観客席に座るものと思っていました。舞台を降りたら、オペラバレエを観賞しよう、備えの勉強は早くからしておかなくてはと心のスミにありましたのでこれはチャンス!と思ひ受講しました。講座受講後すぐ手続きをし、オープンカレッジの資料を手に入れました。他の講座内容も多岐にわたり、講師陣の顔ぶれも立派なものでした。生涯学習がうたわれる今日、意欲が刺激される感じがいたしました。

オペラ鑑賞講座を紹介させていただくと、講師は日本ロッシェニ協会会長の水谷先生。オープンングは先生が観ていらしたホットな舞台の感想からです。大変面白く本題に入る前からのめり込んでしまいました。私も長年、英会話講師をしておりましたが、この前説がクラス進行に影響することをわかっていましてので先生には脱帽いたしました。その後見事に編集されたDVDと解説でアリアまで進行、フィナーレでは皆様大拍手!でもオペラは悲劇の結末も多いので涙することもありました。時には東京

文化会館での来日オペラバレエの鑑賞券を用意して下さることもあり、私は友人と一緒に何回も恩恵を受けました。又昨年は先生のヨーロッパオペラツアーに参加いたしました。ヴェネチアアブエニチエ劇場の「椿姫」を皮切りに6演目を見てきましたが、それはもう夢のような11日間でした。もちろん演目について事前講義、資料配布がありましたので、今年も参加予定です。ちよっとしたきつかけで母校と繋がり、楽しい講義を受け、夢の夢と思っていた本場のオペラを見ることができました。受講者は卒業生とは限りません。男性も多くご夫婦で受講されている方もいらっしゃいます。趣味はヨットという体育系の我が夫に、一緒に受講しようという声をかけても返事は「ノー」で少し寂しい気もいたしますが、いつも私の背中を押してくれます。学生時代、山手校舎には市電しかなく元町から魔の階段を登って通学しました。今は緑園校舎、都筑区の自宅から40分くらいで行く事ができます。健康で頭が働いているうちには他の講座も!と73才の元短大生はまだ夢を追っています。



同窓会より

★キャンパスだよりでもご案内させていただきました。11月3・4日緑園にて大学祭が開催予定、りてらもオリジナルグッズの販売をいたします。ピンクの「のぼり」を目印に、皆さまお誘い合わせの上、懐かしいキャンパスへお越し下さい。

同窓会より

★住所の変更がございましたら、りてらホームページ、或いはFAXにて同窓会室までお知らせくださいませ。

★りてらでは、活動をお手伝い頂ける方を募集しております。またアドレス登録制の「サポーター」さんには、各種作業やグッズ販売など、ご都合に合わせてご参加いただいております。お気軽にお問い合わせください。

グッズも好評発売中です!

オープンポーチ ¥1,000



デニムバッグ ¥1,800



三菱マルチペン ¥800



小さな旅くらぶのご案内

今年度は、「お台場・浅草・水上バス散歩」を、10月23日(火)に予定しております。徳川家の名残を残す浜離宮恩賜庭園をガイドツアーで散策した後、お台場でランチ。そして松本零士氏が宇宙船をイメージしてデザインしたホテルナ船にて、隅田川の潮風を楽しむながら浅草へ、と江戸の風情を感じる小旅行を計画中です。是非皆さまご参加ください。なおご希望の方には浅草にて演芸ホールでの寄席体験もご案内します。

★旅くらぶは登録制です。企画により参加費がかかります。同窓会室・HPにてご登録いただけますと、ご案内状をお送り致します。ご参加は自由です。



〈水上バス ホテルナ〉



〈浜離宮恩賜庭園〉

役員紹介

- 会長 小澤美智子(1970)
- 副会長 増田 紀子(1983)
- 山縣 幸子(1984)
- 会計 古谷ゆかり(1987)
- 浅井 麻里(2002)
- 書記 高坂 香子(2001)



フェリスと私 2

中国語教育にたずさわって

江上 幸子

先日久方ぶりにフェリスに行くことさつそく「老師好(先生こんにちは)！」の声。中国語インテンシブクラスの学生だ。退職から一年以上経っても、キャンパスでよく「交換留学から帰ったばかりです!」「中国語検定合格しました!」と呼び掛けてくれる。

私がフェリスに赴任したのは、国際交流学部ができた一九九七年の二年前。多彩な語学教育をめざして、仏・独・西・中・朝の五言語にインテンシブコースを設けるなど、大幅な改革準備のただなかだった。新カリキュラムの設計、ネイティブ教員の充実、国際交流プログラムの開設・・・と次々に作業に追われた。しかし学生の目の輝きに励まされて、中国語でも清華大学と協定を結んで夏期現地研修、交換留学生相互派遣、清華中国語教員招聘と徐々に交流を活発化させてきた。

中国の経済成長がまだ始まったばかりの二十年前、夏期語学研修をおこなう清華大学周辺は今と違って畑が広がり、生活の便も悪かった。恵まれた家庭の出身が多いフェリス生には、「こんな所で勉強するの?」とためらいもあったようだだが、三週間が過ぎると「もっと北京に残りたい!」と涙の帰国になった。最近の大学生は海外へ出ること消極的と言われるが、中国語では清華大学のほか上海・華東師範大学、台湾・輔仁大学の三協定校に、現在も毎年六名ほどが一年間の交換留学をしている。留学などが契機となって、これまで北京や上海で職に就いた学生も少ない。「女性活躍」に制約の残る日本に比べて、おおいに社会進出している中国の女性の姿が、フェリス生の背中を押してくれているようだ。

フェリス生が留学に行くだけでなく、三協定校からも交換留学生を毎年迎えている。インテンシブクラスの学生を中心に留学生のチューターをつとめ、日本語と中国語を教えあったりしている。一緒に留学会を運営してくれたりもした。帰国してからも留学生たちは、フェリスの研修団が訪中した際などに顔を出して、留学中の楽しかった思い出話を披露したり、また東日本大震災の時の緊張を語ったりしてくれる。両国に反中・反日感情が高まった時にも、



「ジャパNSTAディーツアー」の体験などを紹介して、「フェリスは他とは違う!」と中国の友人たちに訴えていた。

毎年フェリスの中国語教育のため来校される清華の教員も、学生に大きな影響を与えてくれている。教員宿舎で餃子作りを教わったり、言語センターで開催される「中国語カフェ」で気楽な会話を楽しんだり、鎌倉やデイズニールランドへ案内したり・・・そんな活動が授業以外の実践的中国語学習の好機になっている。半年の招聘期間を終えて帰国された先生と、その後もメールで連絡を取りつづけ、個人旅行で北京を訪れた際ご自宅にお邪魔してご馳走になったりする学生もいる。今年の春には、以前フェリスに来られ今は新潟大学に招聘されている先生が、横浜に立ち寄られ、フェリスの中国語の現職や非常勤の先生がたと談笑の機会をもった。前回のフェリス赴任時の教え子とも、今なお交流が続いているとのことである。

フェリスのインテンシブコースは、二・二年次に週六回机を並べて勉強する。二

十五人というクラスサイズもあって、ここで育まれる友情は「一生もの」になるようだ。卒業後も時折クラス会を開いて、職場や子育ての経験・悩みを共有しあっている。癌になった同級生を励まそうと、書きの色紙が私にも回ってきたりする。フェリスでの出会いが生涯にわたって学生たちの支えとなり、また切磋琢磨しあう刺激となっているのを目にするほど嬉しいことはない。学祭には毎年たいてい中国語インテンシブクラスが餃子などの店を出すのだが、卒業生たちはやがて子供を連れて訪ねてきてくれる。

中国が超大国となり世界で影響力を強める今、フェリスでの中国および中国語の学習体験がきっかけとなって、国家間とは異なる若者同士の交流・理解が進めば何よりである。また、フェリス生が日本社会で輝くためにも、その体験が活かされてエンパワーメントに繋がることを心より願っている。

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時〜16時
(大学の春・夏・冬長期休暇中は閉室)
〒245-8650

住所 横浜市泉区緑園4-5-3
フェリス女学院大学内

電話 045812-86692
FAX 045814-89966

URL <http://litera.grip.jp>
メール info@litera.grip.jp

同窓会支部だより

東京支部

昨年の東京支部総会は十月五日、例年通り浜松町東京會館で行われました。学院からは大学学長秋岡陽先生、また四同窓会会長の皆様もご出席下さり、一五〇周年に向けた様々な取り組み、計画を伺いました。私達、同窓会会員もぜひ、何らかの形で協力してゆきたいと思いました。

午後は長くこの支部を支えて下さっている田中順先生の歌唱指導による「歌う会」。美しい歌、懐かしい歌、そしてなじみ深い讚美歌など、会員が心をひとつに声をそろえて歌う素晴らしさを満喫したひとときでした。

十一月には新宿に開館した漱石山房記念館そして早稲田界隈を宮坂先生が案内してくださり、興味深い文学散歩となりました。

新年一月の新春歌舞伎観劇や三月末の市ヶ谷でのお花見も例年通り、皆様と楽しむことができました。しかしながら昨今、会員の皆様および役員の高齢化、それに伴う催事への参加者の減少著しく、こうした活動の継続が年々難しい状況になってきております。支部の今後については、今年十月の総会の議題として会員の皆様のご意見を伺いながらじっくり話し合っていきたいと考えております。午後の講演は元三田文学編集長、加藤宗哉氏をお迎えして「遠藤周作」を公私にわたり語りつくしていただきます。お楽しみに。

支部長 多賀 礼子

関西支部

関西支部同窓会総会は例年、賛美歌、聖書朗読、清水前支部長のお祈りによって始められます。今は年に一度の礼拝です。とおっしゃる方々も多数いらつしやいます。それぞれカイパー記念講堂を思い浮かべつつ、一気にフェリススムードに包まれます。

昨年は鈴木学院長と金子りべるで会長をお迎えして京都で開催しました。あいにくの雨でしたが、観光客が少ないのが幸いで、しつとりと落ち着いたたはずまの古都を味わうことができました。

総会会場は、京都、大阪、神戸と毎年巡っております。今年は大阪での開催です。JR大阪駅直結の便利な所ですので、関西以外の方もどうぞお出かけください。今年からの幹事さんは、幸田さん(りべるで)、山本さん、中川さん(りべら)です。

支部長 磯野 和美

30年度関西支部同窓会総会のご案内

日時 11月14日(水)

場所 ルミネエール大阪KARAOKE

グランフロント大阪8F

電話 06(6485)7515

申し込み先

huseusagi@hotmail.com

住所、氏名、卒業年度、学部明記のこと

西南支部

平成二九年度西南支部同窓会総会は昨年十一月、ホテル日航福岡で開催いたしました。学院長鈴木佳秀先生、同窓会Fグループ会長小林周子様にご臨席いただきました。

礼拝は鈴木先生にお願いいたしました。ベルリリーズのハンドベルの演奏で始まり、今回は特別賛美としてオールフェリスの有志の皆さんのコーラスもありました。

鈴木先生の大学のお話、また気さくなお人柄から、ご自身の進学の頃のお話なども伺えたり貴重な時間でした。小林会長には同窓会のお話、更にピアノの演奏もお聞かせいただきました。とても素敵なお話でした。

小林会長と同級生の方も数人いらして和やかな雰囲気伝わってまいりました。礼拝の静謐な時間は学生時代の記憶を甦らせ、オールフェリスの新たな繋がりがもてるのは同窓会ならではのようです。

今年度より支部長は大神薫子さんとあります。五年間多くの皆様にお力添え頂き支部長として関わらせて頂きましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年度支部総会は十月末開催予定です。どうぞよろしくお願い致します。

西南支部 菊竹 美枝

フェリス白菊会より

主の名を賛美します。

同窓会としていつも変わらぬお交わりに感謝します。

合同で行われるクリスマス礼拝も定着し、毎年たくさんのお窓生が共に集い、懐かしい讚美歌を歌いともにクリスマスをお祝います。今年もたくさんの方の参加があると思います。

中高同窓会、フェリス白菊会は建て替えられた新しい校舎内の同窓会室で活発な活動を続けています。様々な分野の同窓生を皆さまにご紹介し、ティータムでお話をお聞きしたり、カイパーコンサートでは演奏と美術展示で活躍を築かせていただきます。またその収益金を学院に寄付させていただいています。学院の150周年に向けて中高同窓会としてさらに力強くお支えできたらと努力を重ねています。また定期的に開かれているサークル活動には大学同窓会の皆さまのご参加もお待ちしております。

今年度のカイパーサタデーコンサートは3月23日(土)にドイツで活躍中の小山由美さん(メゾソプラノ)と平高朝輝子さん(ピアノ)の演奏会を計画しております。また伴奏はFグループ会長の小林周子さんにお願ひしました。みなさまお誘いあわせてお出かけください。

フェリス白菊会会長 衛藤 怜子

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya (1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2017年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2017年4月1日～2018年3月31日) (単位円)

前年度繰越金 (2017年4月1日)	1,423,556
収入	
同窓会連絡会 維持費	280,000
白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各 ¥70,000×4	
利息 2017年8月	6
利息 2018年2月	6
小計	280,012
収入合計	1,703,568
支出	
支部総会お祝い金	60,000
東京・関西・西南支部 各 ¥20,000×3	
東京支部参加費 ¥6,000×4	24,000
関西支部大会出席会費、往復交通費	34,580
西南支部大会出席会費、往復交通費、宿泊費	55,780
クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	95,726
支出合計	270,086
次年度繰越金	¥1,433,482

以上の通りご報告いたします。
2018年4月1日 Fグループ 小林 周子

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2018年12月8日(土)
午前11時から

《場 所》

カイバー
記念講堂

《説教者》

アメリカ改革派教会宣教師
フェリス女学院理事
キスト岡崎さゆ里牧師



クリスマス礼拝(2017年) 献金先

献金総額	277,780円
●日本ユニセフ協会	69,445円
●日本キリスト教海外医療協力会	69,455円
●難民を助ける会	69,455円
●社会福祉法人日本医療伝道会	69,455円

大学からのお知らせ

フェリス女学院大学大学院では、専門性豊かな3研究科を設け、新しい時代を切り拓く女性を育成しています。卒業生の皆様、もう一度フェリスで学んでみませんか？ 研究科長からのメッセージをお届けいたします。



方式を採用。カリキュラムは研究テーマに即した3つの科目群から構成され、相互に補充し合うことで、専門分野の枠を超えた総合知識も獲得できます。こうした研究体制のもと、学部卒業生も社会経験を経た方も、少人数制の密度の濃い学修環境で、学びをさらに深め発展させてください。博士前期課程を修了すると修士(国際交流)の学位が、さらに博士後期課程を修了すると博士(国際交流)の学位が授与されます。

国際交流研究科長 木曾 順子

【人文科学研究科】

人文科学研究科には「英語英米文学専攻」「日本語日本文学専攻」「コミュニケーション学専攻」の3つの専攻があります。「英語英米文学専攻」では英米文学とともに英米の文化・社会や英語学について、「日本語日本文学専攻」では日本の文学・文化や日本語・日本語教育について、「コミュニケーション学専攻」では心理・社会・言語・文化の側面からのコミュニケーション問題について、それぞれ多角的に人文科学に関する教育研究を展開しています。そして院生の興味関心に寄り添った指導を重視し、専門的見地から多様化する社会を理解し、社会的貢献のできる研究能力及びその基礎となる豊かな学識を備えた職業人・研究者の育成をめざしています。

人文科学研究科長 井上 恵美子

【国際交流研究科】

「学びをさらに深め、キャリアに繋ぐ」国際交流研究科は、グローバルゼーション時代にふさわしい、専門的知識、独創性、また専門の枠を超えた総合的知識を身に付け、優れた判断力を発揮して多様な分野で活躍できる人材の育成をめざしています。グローバルゼーションに関する研究を中心に、1専攻(国際交流専攻)3研究群(グローバルゼーション研究「グローバルゼーション」と地域社会「グローバルゼーション」&日本)

【音楽研究科】

音楽研究科には「音楽芸術専攻」と「演奏専攻」があります。「音楽芸術専攻」では、作曲・編曲・メディアアート制作、音楽ジャーナリズム、応用音楽学、ポピュラー音楽理論、音楽コミュニケーション(音楽/器楽/共演ピアノ)など、多様化する音楽文化ジャンルに対応した教育研究指導を行っています。「演奏専攻」では、鍵盤楽器(ピアノ・オルガン・チェンバロ・弦楽器ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)・管楽器(フルート)などの実技を専門とし、プロフェッショナルな演奏や教育の道を目指します。オーケストラのタペのオーディションに合格すれば、オーケストラとの共演も実現できます。

両専攻とも個別のニーズに対応する丁寧な教育方針のもと、音楽の各種専門知識や高度な演奏技術をもつて修了後の社会で活躍できる教養ある音楽人の育成を目指します。

音楽研究科長 立神 穂子
※詳しい入試日程や試験内容につきましては、大学公式サイトを「ご覧ください」。

http://www.ferris.ac.jp/examination/
graduate-admissions/

大学祭 FERRIS FESTIVAL 2018

テーマ『WA!～輪・和～』

開催日時：11月3日(土・祝)、11月4日(日)
 両日：礼拝10:00～開場11:00 閉場19:00
 開催場所：緑園キャンパス

Ferris University Alumni Salon 2018

～1日限定 同窓生向けサロンのご案内～

今年の大学祭(FERRIS FESTIVAL 2018)では、「同窓生向けサロン」として卒業生専用スペースを設けます。フェリスの歴史資料や懐かしの卒業アルバムを見ながら、ご友人や先生方と懐かしいひと時を過ごしませんか。お茶とお菓子をご用意してお待ちしています。ぜひ、ご友人や先生方をお誘い合わせの上、緑園キャンパスにお越しください。限定のフェリスグッズの販売も予定しています。

大学祭では、その他たくさん催し物も開催しています。旧友とそしてご家族と、ぜひ今のフェリスを体感してください。

- ◆日時 11月3日(土) 11:00～16:00
- ◆場所 フェリス女学院大学 緑園キャンパス (会場は、当日入口掲示版にて案内)
- ◆対象 フェリス女学院大学同窓生とそのご家族の皆様

※事前予約不要・入場無料

企画・運営：フェリス女学院大学総務課
 問い合わせ先 TEL：045-812-8211
 e-mail：u-soumu@ferris.ac.jp

オープンカレッジのご案内

大学を卒業し、それぞれのお立場でご活躍されている同窓生の皆さま、ふとした時に、「もう少し大学で学んでおけばよかった」「子育てもひと段落して改めて大学で学び直したい」とお感じになることはないでしょうか。

生涯学習課では、そんな皆さまのために様々な分野(文学・文化・歴史・宗教・語学・美術・音楽など)の講座を多数用意しております。パンフレットは無料でお送りしますので、ぜひ一度お手に取ってご覧ください。同窓生の皆さまには事務手数料免除の特典もございます。

スタッフ一同心よりお待ちしております。

生涯学習課直通：045-812-8390 URL：http://open.ferris.ac.jp/

2018年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆11月3日(土・祝) 室内楽の夕べ
15:00開演 / 入場無料 フェリスホール
【出演】学内オーディション合格者
- ◆11月23日(金・祝) オーケストラ協演の夕べ
19:00開演 / 入場無料 フェリスホール
【出演】ソリスト：学内オーディション合格者
指揮：鷹羽弘晃
- ◆12月7日(金) フェリス管弦アンサンブル第17回定期演奏会
19:00開演 / 入場無料 フェリスホール
【出演】ソリスト：学内オーディション合格者
指揮：飯吉高
- ◆12月22日(土) 第26回フェリス女学院「メサイア」演奏会
17:00開演 / 一般1,000円 フェリスホール
- ◆2019年3月8日(金) 音芸コンサート
詳細未定 / 一般1,000円 フェリスホール
- ◆2019年3月11日(月) 卒業記念演奏会
詳細未定 / フェリスホール

「お問合せ」音楽学部演奏委員会室
 TEL：045-681-5189(月火木金10:00～17:00)
 E-MAIL：concert_office@ferris.ac.jp
 コンサート情報Facebook <https://www.facebook.com/FerrisConcert>

Fグループコンサートのご案内

- ◆9月15日(土) ジョイントコンサート(詳細11ページ)
15:00開演 / 全席¥1,000 フェリスホール
ピアノ独奏、2台ピアノ、声楽によるコンサート
- ◆10月26日(金) フェリスアーベント(詳細11ページ)
19:00開演 / 全席¥2,500 フェリスホール
ピアノ：田口純子
ソプラノ：藤田直子 ピアノ：小倉一美

お問合せ：Fグループ事務局
 TEL：045-681-6740(木曜日10:00～17:00)
 E-MAIL：ferris@fgroup.jp

天来の慰めをお祈りいたします。	りてら	青木喜久枝姉(1032)	池田ます姉(1032)	間瀬裕子姉(1032)	澤田純子姉(11回)	窪田久代姉(19回)	堤美知姉(20回)	小林美知姉(20回)	りてら	大之木悦子姉(10回)	Fグループ	加藤幹子姉(D62)	西原由美姉(D52)	原口ふたみ姉(D51)	山中英子姉(D49)	小椋智子姉(D48)	根岸敬子姉(D47)	松原美登利姉(D46)	高田恭子姉(D44)	近藤誠子姉(D37)	井出とも子姉(D36)	松田美智子姉(D32)	金田千代姉(D28)	金森哲子姉(D28)	りてら	水本雄三先生	林佑子先生	永眠者(お届けのあった方)	
	20018	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017	20017
	4	5	11	7	9	3	3	4	10	5	12	4	24	13	17	14	8	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	16	13	29	24	29	17	8	28	4	24	13	10	17	14	8	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

編集後記

7月の西日本豪雨で被害にあわれました皆様、心よりお見舞いを申し上げます。今年も皆様の温かいご助力をいただき、会報をお届けできる幸せに感謝いたします。これからの集いにも、皆様お誘い合わせでなつかしい時間をお過ごし下さいます様にお待ちしています。

フェリス女学院大学同窓会会報

2018年8月発行
 担当：家政科同窓会りてら
 りてら 045(662)0750
 Fグループ 045(812)8692
 045(681)6740

資料室からのお願

- 一五〇年史資料集◆第5集◆「学校日誌にみる学院と生徒たち 1924-1946」が発行されました。昭和初期から敗戦までの多難な時期の記録が淡々と綴られた貴重な記録です。ご希望の方はご連絡ください。
- 創立一五〇周年をめざし、資料室では資料目録を作成しています。皆さんからご寄贈いただいた思い出の品々、一点一点に番号を付し、台帳に記入しています。短期大学・大学の歴史や学生生活に関わる資料がありましたら、ご寄贈ください。また、フェリスに関する資料・情報もお気軽に寄せてください。
- フェリス女学院資料室
 担当：長谷川、鈴木
 電話：045-662-4411
 mail：shryo@ferris.ac.jp